

F Mアップルウェーブ 第126回放送番組審議会

開催日時 令和3年12月7日(土) 18:00~19:00

開催場所 土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員
委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦
委員 佐藤 浩之、佐々木 裕和、石田 有希子、窪野 夏希

会社側出席者
代表取締役社長: 一戸 勝美、常務取締役: 倉田 正直、新戸部 洋輔、南 直乃進
放送部部長: 佐藤 誠、副部長: 花田 由香子

議題
(1) 番組に対する意見要望
(2) 次回開催日について 3月19日(土)

議事の概要

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

1) 課題番組 『てくてくアワー』

- ① いろんなジャンルの音楽が聴けて楽しい番組。間延びすることなく展開する。話が脱線しそうになってもどちらかが引き戻している。自分より年代が上の曲が多かったが、改めて名曲と感じられたり、時代の変化も感じられたりと、気づきがあり、楽しい放送だった。
- ② フォークソング全盛期に青春時代を過ごした人がターゲットの番組であるが、自分の世代や若い世代が聴いても楽しめると思う。夜10時という時間帯にも合っていて、お酒を飲みながら聴きたくなる。バタバタ感やギャグが散りばめられているが、うまくまとまっていた。トークの中で出てきた疑問点などは番組内で解決してほしい
- ③ メインパーソナリティの緊張感が伝わってしまっていた。お互い楽曲へのうんちく・情報量が豊富で話が展開したが、すこし一方通行過ぎる部分もあると感じた。楽器を演奏されるのでアーティスト目線などの多方面からの情報があっても良いのではないかと。リクエストも受け付けてみては。
- ④ 雑学的な話が多かったので、もう少し曲そのものをリサーチして、楽曲の良さや評価すべきポイントを正確な表現・情報で伝えてほしい。メインパーソナリティが欠けている点をアシスタントがフォローして、今後も続けてほしい。
- ⑤ 細かい話題も多いがところどころ間違っていたので正確に伝えるべき。スキャンダルのお話をうやむやにしたが、昔の話なので言っても良かったのでは。お互いがフォローしあっている掛け合いが聴きやすかった。リスナーにエピソードを交えてリクエストを募ってみてはどうか。
- ⑥ 楽曲の意外性をテーマに設定したことが面白い。番組の企画力を感じた。番組を展開する二人の話題が豊富で、肩の凝らない、気軽に聴ける音楽番組になっている。コミュニティFMの番組であることを忘れるほど、誰が聴いても楽しめるのでは。今後も番組の幅を広げて続けてほしい。

【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載